

# スローライフ学会だより

発行：NPOスローライフ・ジャパン（スローライフ学会事務局）2009年9月25日 NO.10  
〒102-0085 東京都千代田区六番町6-1 パレロワイヤル六番町310 ☎03-3221-5113 fax03-3221-5114  
<http://www.slowlife-japan.jp/> E-mail:slowlifej@nifty.ne.jp

## いよいよ「スローライフ月間 in 淡路島」が始まります。



10月7日からの2ヶ月間、兵庫県・淡路島ではスローライフな催しがいっぱい！近々パンフレットでご案内いたします。そして「月間」の最後には、「スローライフ・フォーラム」が——。美しい海と島ならではの味を楽しみながら、語り合しましょう。ご予約ください！（写真は洲本市の展望と名物のタコ）



### ～スローライフ・フォーラム～3つの分科会と全体会

#### 【南あわじ分科会】

12月4日（金）場所／南あわじ市「サンライズ淡路」

テーマ／「空き地で交流・空き家に定住」～島には可能性がいっぱい～

#### 【淡路分科会】

12月5日（土）場所／淡路市「淡路市立仁井（にい）公民館」

テーマ／「限界集落ではない、元気集落だ！」～物差しを持ち替えよう～

#### 【洲本分科会】

12月5日（土）場所／洲本市「エトワール生石（おいし）」

テーマ／「島のスローツーリズム」～海と花と食と。あらためて観光を考える～

#### 【全体会】

12月6日（日）場所／兵庫県立淡路夢舞台国際会議場・地下1階イベントホール

テーマ／「島に学ぶ」

- ・コーディネーター 増田寛也さん（スローライフ学会会長・野村総合研究所顧問）
- ・パネリスト 齊藤 睦さん（南あわじ分科会座長・地域総合研究所所長）  
生源寺眞一さん（淡路分科会座長・東京大学農学部長）  
中村桂子さん（洲本分科会座長・JT生命誌研究館館長）  
井戸敏三さん（兵庫県知事）



## スピーチ I 「地方政治も変わる ～政権交代と”田舎復権”～」

田嶋義介さん 島根県立大学

「市民の意識が変化している。スローライフへの評価が高まっているということだ」と、スピーチのあと後、田嶋さんは語られました。政権が替わって、地方からスローライフの動きが起きてくることを期待します。

朝日新聞記者を 30 年やってから島根県浜田にある大学へ行って 10 年になる。今日はリーマン・ショックから 1 年目。1 年経って、変化がある。一つには人びとの意識が変わった。もう一つは民主党のマニフェストによって変わっていかざるを得ないということ。

### ●人びとの意識が変わってきた。

篠原 一 東京大学名誉教授は、「リーマン・ショックと社会の変容」で講演している。科学主義をベースに、資本主義、産業主義、個人主義、近代国家の 5 つの柱があった近代社会が、リーマン・ショックで市場原理主義が崩壊、産業構造が変化した。ものより人へ、仕事から家族・絆へと意識が変化した。「市民社会の比重増加と二回路型デモクラシー（議会制民主主義プラス市民討議）が必要だ」と。

最近若い人が農業に就くようになったが、哲学者の内山 節さんは、「近代のニヒリズム 農業・農山村ブームの再来」（7 月 23 日朝日新聞）で述べている。「人々は進歩とか科学の発展、自由な個人の確立といった近代を動かしてきた言葉に、輝きを感じなくなった」「自然と共に生きる自分を自分でデザインする。それによって、持続性のある社会や生き方を再確立していこうという試みだ。」と。

島根県の隠岐諸島の海士町には、この 4 年間で 130 人が移住した。自然と一緒に暮らしたい、子育てをしたいと。トヨタやソニーなど、大手企業を退職した人もいる。田舎の価値の見直し、意識の変化が現実に起きている。その中で民主党のマニフェストが動き始める。（※マニフェストの解説略）

### ●民主党マニフェストの課題（※レジュメから）

有権者が支持したのだから、実行しやすいだろう。期待したいが、課題もある

1、中央省庁、民主党内の抵抗勢力を抑え、財源確保などの政治力を発揮できるか。→三権分立の考え方と地方の民主党に多い公共事業派の変化が必要（官僚内閣制から国会内閣制へ。政策決定は国会、政策執行は内閣が行政機構を組織して行う）

2、地方自治体は権限、財源を得て、地域政治を主体的に展開できるか→地方には自民党、保守系無所属の勢力が強く、中央とは逆転状況。自主財源化でも道路整備計画など、選択の余地が少ないとも。自治体、住民がどう変えるか。自治体は住民参加に工夫を。

3、地方分権は、民主主義を深め、国民の総意結集を進めるが国力とは、縁遠い→経済をどう進化させるか。

4、愛知県豊田市は昨秋の世界経済危機で、法人市民税が 9.6%、425 億円減。でも生活は余り変わらない、地方も景気に左右される税制の改革が必要である。



第 3 回「さんか・さろん」は 9 月 15 日に 33 人が参加して行われました。

お二人の講師のスピーチを要約しました。



## スピーチⅡ 「泥んこまちづくり」

名田いくこさん 塗り壁コーディネーター

□ 会場に「泥団子」が回ると、参加者の顔がほころびました。腕組みをして難しい顔をされていた方々が、年少少女のように。泥んこにはそんな力があるのでしょう。名田さんの話を聞いていて漆喰壁を塗りたくなりました。

まちづくりからインテリアまで、自然のものを活かして地域や空間をデザインする仕事をしている。静岡県伊豆半島の西海岸、松崎町にはナマコ壁という建物が多く、文化であり観光資源でもある。土壁に瓦を貼って、目地を漆喰を塗ってかまぼこ状に盛り上げて仕上げた壁。この盛り上がりかまぼこの形に似ているからこの名に。左官の神様・入江長八はこの町の出身、「長八美術館」は観光拠点になっている。以前、町の「ナマコ壁通り」にある大きなナマコ壁の色のくすみを、漆喰ではなくペンキを塗った。数年経ってみると、もっとひどくなってしまった。

### ●松崎蔵づくり隊の活躍

この失敗から、偽物でなく本当のナマコ壁を見てもらおう、補修のやり方を覚えようと住民グループができた。私はこの「松崎蔵づくり隊」というグループにボランティアで属している。左官のプロと町民と観光客がうまく連携している。古い壁の補修から始まり、ついに「夢蔵」という小さな蔵も造った。以前はナマコ壁を塗った経験者はベテランにしかいなかったが、3～40代のプロがどんどん経験できている。それだけでなく、松崎高校の高校生達が関わっている。美術部の生徒は蔵のできるまでを絵本にしようとしている。高校生からは「この蔵は私の宝の建物」という言葉が出た。もっと小さい子供には、「光る泥団子」づくりを体験してもらおう。遊びながら、泥や漆喰について知ってもらっている。

( 松崎蔵づくり隊 松崎町役場企画観光課商工観光係 山本 公さん 電話 0558-42-3964 )

### ●昔の日本の家は自然・身体にやさしい

土蔵を壊すと聞くと、瓦から土までもらってきてストックしておく。また使える。日本の家は木、竹、土でできている。私たちは間伐材を使い、はびこる竹を切り、農家から藁を分けてもらって蔵を造っている。壁の芯は竹を編んだもの、これに藁を混ぜた泥を団子にしてペタペタつけていく、この作業は誰でもできるので昔は茅葺屋根の葺き替えのように、親戚近所が“結い”でやってきた。

これが変わったのは戦後。速く、安くを追いかけて、石膏ボードにクロスを貼る大量生産の壁が主流になってしまった。この壁は漆喰のように湿気を吸ったりできないので、サッシに結露したりする。ビニール素材の服を着ているようなもの。カビ・ダニも発生する。今、マンションの壁に漆喰を塗る人が増えている。6畳間で壁面が少なければ6～7万円くらいからできる。漆喰のタイルもできつつある。泥・漆喰からさまざまなことが見えてくる。



---

### なまこ壁づくり体験 (事前の申し込みが必要です)

10月25日(日)・26日(月) 伝統的な技法で建築中の土蔵でなまこ壁づくりが体験できます。

【問い合わせ】第24回国民文化祭松崎町実行委員会 電話 0558-42-3971

ホームページ <http://www.town.matsuzaki.shizuoka.jp/>



## 「さんか・さろん」次回は10月20日(火)です。

スピーカーはこのお二人です。



○浦 聖治さん (クオリティ株式会社 代表取締役社長) 「ITは太陽と緑を求める」  
浦さんが経営する「クオリティ株式会社」は、新進のIT企業。最先端に行く。だからなおのこと「人との交流とか会社の環境づくりをスローライフに」と。



○小池 利佳さん (赤煉瓦ネットワーク事務局) 「近代化遺産の魅力」  
軍艦島をはじめ、にわかにかこうした近代遺産が注目されています。重厚長大時代の“古くて、堅いもの”が好き、という小池さんからその魅力をうかがいます。

お申し込みは、メール・お電話、ホームページにある申込用紙でどうぞ。

## 「筑紫哲也賞」にぜひー

筑紫哲也のスローライフへの遺志を継ぐ作文コンクール「筑紫哲也賞」の締め切り(10月末)が迫りました。

11月7日。一周忌の墓前に「これだけ応募があったよ」と作品数を報告したいと考えています。

神話・伝説・昔話を新しい眼で読み直す一意義があつて、ちょっと楽しい企画ではないでしょうか。

スローライフ学会のみなさん、ぜひペンを採ってくださいね。  
(募集要項はホームページにくわしく出ています。事務局に気軽にご連絡ください)



### **\*\*会費とメールをよろしくお願いします。\*\***

年会費(4月~3月)5000円をよろしくお願いします。銀行振り込み、郵便局(ゆうちょ銀行)どちらでも結構です。「払ったかどうか??」という方は、事務局 までご一報ください。また、事務局にまだメールアドレスをご連絡でない方、一度メールを送りください。なるべくメールで連絡させていただきたく思います。

#### 《銀行振込》

銀行名 三井住友銀行麹町支店 番号 普通預金 8811176 口座名 スローライフ学会

《郵便振込》 番号 00190-4-595293 加入者名 スローライフ学会

《問合せ》 スローライフ学会・NPOスローライフ・ジャパン

Tel 03-3221-5113 (Fax 5114)

メール [slowlifej@nifty.ne.jp](mailto:slowlifej@nifty.ne.jp) ホームページ <http://www.slowlife-japan.jp/>